平成２３年度　様式１　**学力向上のための授業改善全体計画**　練馬区立中村西小学校

○教育基本法
○東京都教育委員会教育目標
○練馬区教育委員会教育目標
心身ともに健康で知性と感性に富む人間性豊かな子ども

【本校の教育目標】
◎よく考える子ども
○からだのじょうぶな子ども
○思いやりのある子ども

○保護者・地域の願い
○教師の願い
確かな学力　思いやりの心
規範意識

本校の目指す学校―みんなでつくる
みんなが楽しい学校
○みんなで活動する楽しさを味わう。
○確かな学力を身に付ける。
○一体感のある行事を創る。
○個性・長所を伸ばし、生きる自信をはぐくむ。

【子供の実態】
○明るく素直である。
○課題に一生懸命取り組む。
○他の人に親切である。

○問題意識をもち、積極的に取り組む姿勢が弱い。
○自分の考えをもてるが、進んで発表する力が弱い。
○コミュニケーションのとり方が分からない子供が多い。

【本 校 の 目 指 す 授 業】
1　すすんで学ぼうとする。
2　自分の考えをもつ。
3　考えを交流し合う。
4　学んだことを表現する。

【本校のとらえる学力】
基本としての知識・技能と自ら学び自ら考える力
思考力　判断力　表現力
問題発見力　問題解決力
学び方　学ぶ意欲　知識・技能

＜本校の授業改善に向けた視点＞

指導内容•方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究•研修の充実	評価活動の工夫	家庭や地域との連携
•子供の興味•関心を生かし、課題解決的な学習を工夫する。 •学習活動のみとりを大切にし、個に応じた指導を工夫する。 •体験的な学習の充実を図る（自然体験、見学、栽培活動など）。 •繰り返し学習することにより、基礎•基本の徹底を図る。 •グループで学び合う活動を積極的に取り入れる。 •一単位時間のねらいを明確にする。	•学力向上支援講師とのＴＴで授業改善を図る。 •２～６学年の算数において、少人数指導を実施し、子供一人一人に応じた指導を進める。 •図書管理員、地域の図書館、お話の会などと積極的に連携していく。 •年間３回の読書期間を設定し、読書に親しませるきっかけとする。 •体育集会や休み時間を生かして、体力作りに取り組む期間を設定する。 •部活動体験、出前授業など中学校との連携を図り、高学年に進学への希望をもたせ、学ぶ意欲を高める。	•教育課題研究指定校、パナソニック教育財団特別研究指定校の指定を受け、「表現する楽しさを味わう子の育成」をテーマとし、さらにＩＣＴを効果的に活用した授業改善を図っていく。 •研究授業を公開し多くの視点から授業力の向上を図る。 •研究授業以外でも、授業を公開し合い学び合う。	•各教科における評価計画及び評価規準の見直しを図り、適切な評価活動を行う。 •子供一人一人が学ぶ喜びや学習の伸びが感じられる評価を工夫する。 •学習カードを活用し、子供が学習を振り返る自己評価力の育成に努める。 •児童による授業評価、保護者、学校評議員による学校評価を、授業改善に生かす。	•学校経営方針をはじめとする様々な情報を、学校だより、保護者会、ホームページなどで発信し、協力を求める。 •学校公開や道徳授業地区公開講座、運動会、展覧会などの行事を通して、積極的に教育活動を公開するとともに、家庭や地域の参画を求める。 •学年だより、学級だよりなどを通して、生活習慣の確立や、家庭学習の習慣化などを呼びかける。